2022年度　関東学生柔道優勝大会

－代表者会議資料－

１．提出物について

１）健康記録表の作成(5/22～大会当日まで)

　　　　→選手のみならず、**来場する全員**（審判、役員、監督、主務、付き人、学生委員、

学生係員）

　　　　→欄外に必ず本人および指導者（部長・監督）の署名をすること。

　　２）Googleformsによる健康チェック報告（5/22～29まで）

　　　→**毎日17時まで。**2回以上報告を怠ると、大会出場を認めない場合がある。

　　　　リンク先：

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSddLTadD8K5KNBAqH_Hr7ORFF5TD6TY_zn51qjX_EHJgwFprA/viewform?usp=sf_link>

２．上記１以外に大会当日に持参するもの

　　１）IDカード（未使用分のケースは試合終了時に返却）

　　２）オーダー用短冊

　　　　→必ず「角２封筒に大学名およびカテゴリ」を記載し持参・試合時に提出

　　３）消毒液・予備のマスク

　　４）ビニール袋　1人につき2枚以上

　　　　→靴入れ用、試合時のマスク収納用（必須：全柔連指針による）

　　　　　※使用マスクを他人が素手で触らないようにする

３．大会当日について

　　１）受付について

　　　　１階：役員、審判員、学生委員、学生係員

　　　　　　　→健康管理表を受付で提出。引き換えにIDカードを発行

　　　　２階：監督、主務、選手、付き人

　　　　　　　→全員が揃って受付を行う。

その際【主務を先頭として】、監督、選手、付き人

　　　　　　　　（登録順）で、IDカードを首に掛けて整列する。

主務は、全員の健康記録表を整列順に並べて提出する。

→監督が役員として受付をした場合は、その旨を受付担当に報告し、

　IDカードを返却すること。

　　　　　　　※重要：受付時・受付待機時はソーシャルディスタンスの保持に努め、私語

を禁止する。

　　２）受付後

　　　　受付後は、会場動線図に沿って進入すること。また２階待機席は指定するので、

　　　　それ以外の席や１階フロア・サブ道場等に陣地を設けないこと。

　　３）アップ～開会式

　　　　アップ時、場所取り等はせず、譲り合って使用すること。９:４５を目安に選手は

　　　　アップを終え、「第２試合」までの大学以外は２階席に移動すること。

　　　　なお開会式の整列は行わない。（第２試合までの大学は畳外で参加）

　　４）試合

　　　　オーダーの提出時間などは要項による。必ずオーダー表および掲示用短冊を「封筒

に入れたまま」会場係員に渡し、勝敗に係わらず終了後に受領すること。

試合整列時は「全員マスク着用」のこと。

選手席については、間隔を開けて設置。なおコーチ席については、大会要項の通り

とする。ただし、「自大学選手の管理」を目的として、選手席に加え設置する。

**試合終了毎に畳の消毒を行う。両大学の「試合に出場しなかった登録選手」が**

**担当すること。（会場係員の指示により実施）**

**→**各試合場に2本のモップ・消毒液があるので各大学が両端から実施。その際、

　**「畳の目に沿って」行う**こと。

なお２部・女子３人制で前記選手がいない場合は出場選手が担当する。

試合を終えた大学の主務はIDカードを大会本部に返却すること。

　　５）閉会式～撤収作業～全日本出場校主務会議

　　　　閉会式には「各カテゴリ決勝進出大学」が参加し、終了後は撤収作業にあたる。

　　　　※第3位チームには賞状および盾、個人賞（技術優秀選手賞）を渡す。試合終了

後、ID返却に併せ全日本資料と併せ受領する。その際、技術優秀選手名を報告

すること。

　　　　全日本出場校主務会議は**実施しない**。男子1部・女子5人制の出場確定校に

ついては自校の試合が終了次第、使用IDカード返却と引き換えに全日本資料を

手渡す。（不明点は後日事務局に問い合わせること。）

男子2部・女子3人制についても同様とする。

＜その他連絡事項＞

　　○全日本出場が決定している「男子１部・女子５人制」大学について、全日本大会の

プログラム掲載写真を「できるだけ事前」に事務局へデータにて送付すること。

なお大会当日にプログラム用写真の撮影を行う場合、その場で事務局メール

アドレス：sakiyama@jiu.ac.jpに送信する。

※2部・女子3人制の全日本出場校は必ず撮影を行うこと。

　　〇全日本出場が確定した大学については、「6月1日」までに全日本学生柔道連盟HP

の「Web申込」から必ず行うこと。なおIDをパスワードが不明な場合、関東学連事

務局へ問い合わせること。※問い合わせは全日本事務局ではない。

　　　またIDについてもすぐに作成できるように、事前に顔写真の手配をしておくこと。